

## 山口大学大学院創成科学研究科 教員公募

### 1. 公募人員

助教 1 名（女性優先）

### 2. 所属

山口大学大学院創成科学研究科 工学系学域 応用化学分野（工学部応用化学科）

### 3. 担当研究分野

分子変換を対象とする幅広い有機化学分野とその関連分野の要素を含む研究分野（高分子合成化学、重合化学、有機合成化学、素反応開発、触媒反応開発、有機金属錯体化学、天然物合成化学、典型元素化学、構造有機化学、有機物理化学、有機材料化学、タンパク・ペプチド合成化学、酵素触媒反応化学など）に意欲的に挑戦でき、学部や大学院教育にも熱心に取り組んでいただける方。

なお、学内には SciFinder やオンライン図書が完備されており主要なジャーナルは閲覧可能である。さらに、本学は文科省コアファシリティ事業に採択されており、3 台の NMR や精密質量測定装置、TEM など多くの大型共通機器が配備されており、幅広く力強い研究を展開可能である。

### 4. 担当教育分野

学部 工学部応用化学科

大学院創成科学研究科 工学系学域 応用化学分野

### 5. 担当科目

- ・有機化学に関連する講義、演習及び実験
- ・共通教育科目

### 6. 任期

- ・5 年、審査により 1 回に限り再任可（任期中に一定の業績を持つ者に対して昇任審査を行う）

### 7. 応募資格

以下に掲げる条件をすべて満たす者

- (1) 博士の学位を有すこと（指導教員の意見書があれば着任時までに取得見込みの場合も可）
- (2) 博士の学位取得後 12 年以内の者

### 8. 待遇

給与等雇用条件は、本学の規則による。年俸制を適用する。

### 9. 着任予定日

令和 6 年 9 月 1 日以降のできるだけ早い日（着任時期は相談可能）

### 10. 応募締切

令和 6 年 5 月 31 日（金）17:00【日本標準時間】必着

## 11. 提出書類

- (1) 履歴書（写真を貼付し、連絡先（住所、電話番号、E メールアドレス）を明記のこと）
- (2) 研究業績（原著論文、総説、著書、国際会議論文、特許、外部研究費取得状況、その他に分けて記載すること）
- (3) 論文別刷 5 編以内
- (4) 現在までの研究概要（A4・2 枚程度、図表の使用可）
- (5) 今後の研究と教育に関する抱負（A4・2 枚以内、図表の使用可）
- (6) その他参考となる資料（学会活動、教育経験、受賞など）
- (7) 応募者について照会可能な方 2 名の氏名と連絡先（博士後期課程在学中の場合は、照会者 1 名でも可能）  
（所属・職名・勤務先住所・電話/FAX 番号・電子メールアドレスなど）

## 12. 選考方法

提出書類による書類選考及び面接、セミナー

※書類審査を通過した方には、対面又はオンラインでのセミナー及び面接による最終選考を行います。なお、対面でセミナー及び面接を実施した場合の旅費等は本人負担となります。

## 13. 応募書類の提出先及び照会先

### 【応募書類提出先】

山口大学大学院 創成科学研究科 応用化学分野長 吉本 誠

TEL (0836) 85-9271

E-mail yosimoto@yamaguchi-u.ac.jp

提出書類を全て PDF 形式の添付ファイルとし、件名に「応用化学科有機化学分野助教応募」と記載し、E-mail で上記アドレスに送付してください。E-mail で書類提出後、3 日以内（土日祝日を除く）に受領確認メールが届かない場合には、お問い合わせください。

### 【担当研究分野等に関する問い合わせ先】

山口大学大学院創成科学研究科(工学系学域)応用化学分野 教授 西形 孝司

E-mail: nisikata@yamaguchi-u.ac.jp

## 14. その他

- (1) 応募に係る個人情報は、個人情報保護法に基づいて適切な取り扱いをします。
- (2) 山口大学では、男女共同参画を推進しており、「男女雇用機会均等法」第 8 条の規定により、研究者の女性割合を積極的に改善するための措置として、女性を積極的に採用します。
- (3) 本学では、子育てや介護等によるライフイベントと仕事の両立支援を積極的に行っており、病児保育を利用した際の助成制度、研究補助員制度、メンター制度、研究活動復帰支援制度、介護支援制度などを整備しています。  
<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>
- (4) 着任時の研究スタートアップ支援費として、奨学寄附金 100 万円を配分予定。

## 山口大学はワークライフバランスを支援しています！

山口大学では、大学の構成員（学生・教員・職員）のダイバーシティ（多様性）を積極的に高め、同時に各自の個性と能力が最大限に発揮できるような労働環境の整備に取り組んでいます。そのために、ダイバーシティ推進室ではジェンダーバランスの促進をはじめ、ワークライフバランスのための様々な取組を進めています。詳しくはホームページでも紹介しておりますので、ご覧ください。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

### 研究についての支援

#### 研究補助員 制度

ライフイベントを抱える本学の研究者を対象に、学部生や大学院生を研究補助員として配置することが可能です。

#### 研究活動 復帰支援制度

ライフイベントによる休業等から復帰後1年以内の本学の研究者を対象に、研究活動にかかる経費の一部を助成します。

#### 女性研究者 メンター制度

学内において、主に新任の女性教員等を対象に、教育・研究上や大学生活上のさまざまな疑問や悩みを相談できる教員（メンター）とのマッチングを行います。

#### 留学生 サポーター 制度

語学力で研究活動のサポートを目的として、英語・中国語・韓国語を母国語とする留学生を紹介し、母国語を用いた研究活動の補助業務のためにサポーターとして配置することができます。

### 子育てや介護についての支援

#### 学童保育 ヤマミィ学級

小学校の夏・冬・春休みの間、教職員・学生のお子様を預かる学内学童保育「ヤマミィ学級」を運営しています。教員や学生による大学ならではの多彩なプログラムも提供しています。

#### たんぽぽ保育園 (小串キャンパス)

医学部や附属病院の職員を対象として、安心して働けるよう学内保育園を整備しています。

基本保育90名  
病後児保育3名

#### 企業主導型 保育所

地域の企業主導型保育施設（6施設）と利用契約を締結し、保育サービスを利用することができます。

#### 病児保育施設等 利用助成制度

教職員（共済または社会保険加入者かつ配偶者がある場合には配偶者が就業中の方）のお子様が病児保育施設を利用した場合に、利用料の一部を助成します。事前登録制です。

#### 学内託児 スペース貸出

教職員がお子様の保育のために利用できる託児スペースを学内で貸出しています。保育者は利用者が自費で用意します。保育者については、ダイバーシティ推進室が紹介することもできます。

#### 介護支援

法人契約を締結している支援団体の提供することができます。

【相談】  
介護に関するあらゆる相談についてメール・電話・面談にてお受けします。

【代行業務】  
離れて暮らす御両親のお世話を専門職が代行し、支援します。

#### カウンセリング 相談制度

本学の教職員等を対象に、臨床心理士の専任カウンセラー2名体制により、家庭生活を含むあらゆるご相談やリフレッシュに対応します。



検索